

意見募集結果

「衛星デジタル放送の高度化に関する技術的な要求条件（案）」に対する意見の募集に対し提出された意見及びそれに対する当委員会の考え方は下表のとおり。

※ 意見募集期間：平成19年9月1日～同年10月1日

No	意見提出者	意見（全文）	委員会の考え方
1	ジェイサット株式会社	<p>全体への意見</p> <p>衛星デジタル放送の高度化に関する技術的な要求条件について賛同する。</p> <p><理由></p> <p>新たな伝送方式、新たな映像符号化方式は、それぞれ、周波数の利用効率の向上、高精細度テレビジョン放送等の圧縮率の向上に有効であり、これらの有効な技術を利用可能とすべく技術的な要求条件を定めることは、視聴者利益及び産業全体の活性化のため望ましいものとする。</p>	本要求条件案を支持するご意見と考えます。
2	株式会社スカイパーフェクト・コミュニケーションズ	<p>P. 1「1 システム／インターオペラビリティ／第2項目」</p> <p>「既存のシステムに妨害を与えないこと。」については、既存視聴者保護の重要性から賛同する。</p> <p><理由></p> <p>BS及びCSの既存視聴者へ影響がないよう「衛星放送の将来像に関する研究会」報告書に記載される諸問題の解決が事前に行われることが必要であるとする。</p>	本要求条件案を支持するご意見と考えます。
3	株式会社ミュージックバード	<p>P. 2「2 音質／第2項目・第3項目」</p> <p>P. 3「音声入力フォーマット及び符号化方式／第1項目」</p> <p>高い音質を保つには現行BSデジタル、広帯域CSデジタルで使用されて</p>	今回の意見募集の対象は要求条件であり、具体的な方式の検討はこれからとなります。

		<p>いる方式（MPEG AAC 方式）よりも高音質なサービスを追加することに賛成である。特に非圧縮の PCM 方式を盛り込む事が不可欠である。</p> <p>規格は SMPTE 302M に準拠しつつサンプリング周波数や量子化ビット数なども拡張性をもたせることが必要である。</p> <p>また、今回検討される高度化施策は BS のみに限られず、広帯域 CS や狭帯域 CS にも適応されるべきである。</p> <p><理由></p> <p>NHK 殿と弊社が行なっているリニア PCM を用いての非圧縮の高音質 B モード放送が BS アナログの終了に伴い弊社のみになる。最高音質放送を維持、普及する為にも衛星デジタル放送でも非圧縮の PCM を規格に加えるべきである。</p> <p>規格も国際的に用いられている SMPTE 302M に準拠することで国際標準との親和性を保て、将来への拡張にも対応する。</p>	<p>本ご意見は、今後の議論の参考として承ります。</p>
4	ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社	<p>全体への意見</p> <p>平成 23 年以降の新たな BS デジタル放送については、現行 BS デジタル放送で利用されている MPEG-2 方式、DVB 方式に比して、より圧縮効率が高い H.264/AVC 映像符号化方式、より伝送効率が高い DVB-S.2 伝送路符号化方式を採用することが望ましい。</p> <p><理由></p> <p>デジタル放送方式の技術的な進展は著しく、現在では、平成 12 年から放送開始となった BS デジタル放送に比べて、より少ない周波数帯域で放送サービスを行うことが技術的には可能となっている。</p> <p>平成 23 年以降に開始される新たな BS デジタル放送の計 7 チャンネルについては、国民の共有財産である BS デジタル放送用周波数の希少性に鑑み、効率の良い新たな放送方式を採用することで、有料放送を中心にしたより多くの放送番組を視聴者に提供すべきであると考えているため。</p>	<p>今回の意見募集の対象は要求条件であり、具体的な方式の検討はこれからとなります。</p> <p>本ご意見は、今後の議論の参考として承ります。</p>
5	匿名	<p>P. 3 「3 技術方式／映像入力フォーマット及び符号化方式」</p> <p>H.264 方式が望ましい。</p>	<p>今回の意見募集の対象は要求条件であり、具体的な方式の検討は</p>

	<p><理由> 現行の MPEG2 方式と比較し、視聴者により多くのチャンネルを提供できるという公共性が高まると考えます。同時に、番組供給事業者にとってのコスト負担を軽減することで、有料放送市場の一層の拡大に寄与できると考えます。</p>	<p>これからとなります。 本ご意見は、今後の議論の参考として承ります。</p>
--	---	--